



2025年2月10日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾ミュージアム・コモンズ展覧会（3/17～5/16）

センチュリー赤尾コレクション×斯道文庫

「書物ハンターの冒険：小松茂美旧蔵資料探査録 I」展開催

「書く」文化の探究に並ならぬ情熱を注いだ古筆学創始者の
ユニークすぎるコレクションに分け入る展覧会

2021年に慶應義塾に寄贈されたセンチュリー赤尾コレクションには、古筆学者 小松茂美（1925～2010）の約15,000冊におよぶ旧蔵書が含まれています。この蔵書の最大の特徴は「文字を書く」営みに関わる日本の古典籍を、他に類を見ない幅広さで蒐集していることです。

現在、慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫では、この膨大な蔵書の再調査と目録化を進めています。本展では、驚きに満ちた古典籍調査の過程とともに、ユニークすぎる小松茂美の蔵書コレクションの一端をご紹介します。珍しいもの、ありふれたもの、著名人がかつて持っていたもの、どこにもタイトルのないもの、何だかよくわからない不思議なもの……バリエーション豊かな書物の森に分け入ってみましょう。

1. 基本情報

展覧会名：センチュリー赤尾コレクション×斯道文庫
書物ハンターの冒険：小松茂美旧蔵資料探査録 I

会期： 2025年3月17日（月）～5月16日（金）（土日祝休館）
特別開館：3月29日（土）、4月19日（土）
臨時休館：3月24日（月）、4月14日（月）
4月28日（月）～5月6日（火）

会場： 慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス 東別館）

開館時間： 11:00～18:00

入場： 無料、事前予約不要

詳細： <https://kemco.keio.ac.jp/all-post/20250317/>

関連イベント：本展企画者の一戸渉（斯道文庫 教授）によるギャラリートーク
① 4月19日（土）14:00～15:00、② 5月13日（火）14:00～15:00

関連企画：小展示「センチュリー赤尾コレクションの仏像（仮）」

※ 最新情報はウェブサイトをご確認ください。 <https://kemco.keio.ac.jp/>

2. 展覧会の構成と主な出品作品

書の書：書について書かれたさまざまな書物たち

- (1) 「三迹画像」、〔室町・江戸初期〕
- (2) 「弘安礼節」、〔鎌倉末南北朝期〕写
- (3) 「水辺に芦図」、松平定信賛・内田広恒画、文化15年（1818）成

伝えられる書物：著名な人物の手を経た書物たち

- (4) 「弘安礼節問答・玉章秘伝鈔拔萃・御産所御道具」、〔江戸中期〕写
- (5) 「妙法院宮諸大夫宛加藤千蔭書状」、〔文化2年（1805）〕差出

しらべる、くらべる：同じ？違う？版本を並べて板木の異同を見極める

- (6) 「手本重宝記」、〔中村三近子〕撰、元文5年（1740）刊・覆〔元禄8年（1695）刊本〕

珍書あらわる：コレクションに潜む珍しい書物たち

- (7) 「〔冬基卿記〕」、醍醐冬基撰、延宝3年（1675）写
- (8) 「尋源抄」、貞享2年（1685）刊

目録作成進行中：調査の過程で見出されたもの

- (9) 「〔思露〕」、二条良基撰、〔江戸前期〕写
- (10) 「巻数書」、慶長5年（1600）写

蔵書家、小松茂美：小松茂美の識語や蔵書印が残された書物たち

- (11) 「書札弁惑集」、上原茂雅撰、〔宝暦10年（1760）〕刊

(3) (5)：個人蔵、その他：慶應義塾所蔵（センチュリー赤尾コレクション）

[] 内は補足情報



一、筆法上之注意
 筆法之精粗，全視乎心手之相照。
 筆法之精粗，全視乎心手之相照。
 筆法之精粗，全視乎心手之相照。

5

一、筆法上之注意
 二、用筆之法
 三、用墨之法
 四、用紙之法
 五、用筆之法

6

四、朝聖書三十字
 五、朝聖書三十字
 六、朝聖書三十字

7

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
骨	肉	皮	筋	脈	絡	絡	絡	絡	絡

8

（Faded calligraphy with bleed-through from the reverse side of the page. Some legible characters include '一', '二', '三', '四', '五', '六', '七', '八', '九', '十'.)

9

肆百内
 陸百内
 右嘉越者奉為金輪聖皇天皇地處
 御願國滿珠寺山王安穩祈禱宗教
 榮平諸人快樂風雨順時穀穀豐
 饒別事當所權現威光自在珠鏡精
 誠如右
 永祿五年九月廿五日 日講持諸德教白
 慶長五年七月日 原
 高野山任山之切書 長盛

10

文會堂長推先生著作
 蓄札辨惑集
 一、辨惑
 二、辨惑
 三、辨惑

11

3. 同時開催

展覧会名：ふとした点景 ― 岡崎和郎

会期：[第二期] 3月17日(月)～5月16日(金)

会場：慶應義塾ミュージアム・commons展示室（三田キャンパス 東別館階段踊り場）

「ふとした点景」とは階段の踊り場で展示されたオブジェクトと、それを含みこむ KeMCo の吹き抜け空間の景色を指しています。展示室で行われる展覧会だけではお見せしきれない、大学のコレクションや学術資料に光を当てる企画です。2025年は、現代美術家・岡崎和郎に焦点を当てます。

4. 会場案内

会場：慶應義塾ミュージアム・commons

住所：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

慶應義塾大学三田キャンパス 東別館

交通アクセス：田町駅（JR山手線／JR京浜東北線）徒歩8分

三田駅（都営地下鉄浅草線／都営地下鉄三田線）徒歩7分

赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩8分



慶應義塾ミュージアム・commons
（三田キャンパス東別館）外観

5. 主催・運営

主催：慶應義塾ミュージアム・commons、慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社教育部、文化部等（配信時に調整）に送信させていただきます。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（担当：寺西）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>